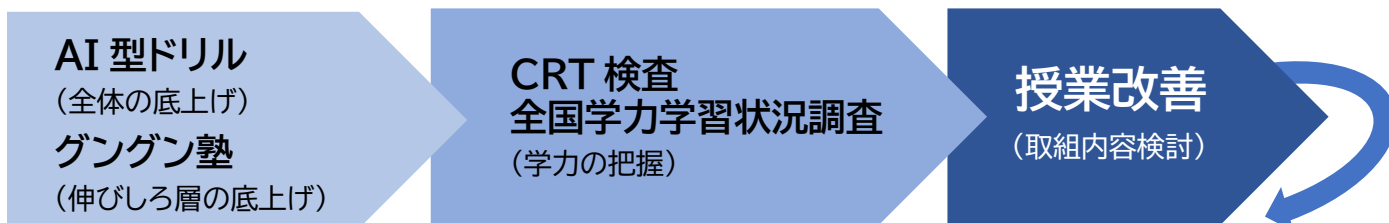


学力向上関連事業について（小・中学校）

確かな学力の定着・向上を図るため、一人一台端末を活用した AI 型ドリルを市内の全小中学校全学年に導入する。AI ドリルは生徒の解答内容から AI が理解度を判定し、誤答の原因と推定される単元に誘導するなど、個々の生徒にとって最適な出題をすることで一人一人の学習を助ける教材であり、個別最適な学びの実現に寄与するものとなる。

また、これまで 10 年間実施してきた放課後学力グングン塾については、令和6年度については事業を縮小して実施することとし、AI ドリルの効果等を検証しつつ今後の方向性を検討していく。



学力向上推進事業【新規:AI 型ドリルの活用】

児童生徒の学力向上に向けて、AI ドリルを導入し、知識及び技能の確実な習得を目指すとともに、一人一人の躓きを効果的に解消し、基礎学力の定着に繋げる。

- 対象:** 市内全小中学校(全学年)の児童生徒
教科: 国語、算数・数学、理科、社会、英語
手法: 一人一台端末を活用し、授業、朝学習、家庭学習などでの活用を想定
事業費: 6,236 千円



CRT 標準学力検査【継続】

年間の指導目標の実現状況を確認するための学力検査を実施する。

- 対象:** 市内全小中学校(全学年)の児童生徒
教科: 国語、算数・数学、英語
事業費: 1,554 千円



放課後学力グングン塾開催事業【継続】

学習指導要領において、本来身につけなければならない学力を学校の授業だけで習得できない児童に対し、基礎学力を身につけさせるための補習を行う。

- 対象:** 市内4小学校の3・4年生の希望児童
教科: 国語、算数
手法: 放課後において3年生は週2回、4年生は週1回指導員が補習を行う
※R5 登録者数: 213 名(57%)
事業費: 12,867 千円
変更内容: 指導員 8 名→4 名、補助員4名→2名
週3回→週2回(3年生1回、4年生1回)